



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2010年8月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

持参薬管理と薬剤部



薬剤部 薬剤科 参事 稲生 隆行

近年、病院に入院される患者さんは、当院をはじめ、いくつかの医療機関を受診し、多くの薬を服用しておられます。

今まで富山市民病院では、医療安全を考え、入院中の患者さんの持参薬を原則として使用していませんでした。しかし、医療安全に配慮し、持参薬を使用していくことは、患者さんの医療費負担の軽減になり、また、DPC導入病院である当院にとっても医薬品費の削減につながります。富山市民病院では、どのように持参薬を管理すれば安全に使用していけるのか、プロジェクトチームを立ち上げ検討して参りました。その結果、持参薬の服用に関係する各職種が役割を分担し、それぞれの職種の専門性を発揮して、患者さんが持参したお薬を安心して服用できる環境を作る必要があるとの結論に達しました。

そこで、薬剤部における取組としてまず、提出された持参薬の薬品鑑別材料（薬やお薬手帳、処方箋のコピー、診療情報提供書など）について、医薬品名、用法・用量、薬効、抗血栓薬の有無、当院採用代替薬品などの医薬品に関する情報を収集・評価し、各職種にわかりやすく記載した薬品鑑別報告書を作成することとしました。また、検査や手術前に事前に中止すべき抗血栓薬の種類やその中止期間などの情報を提供します。このように、薬に関する専門家としての役割を分担します。薬剤部から提供した情報を、院内のどの部署でも職種に関係なく確認できる体制を作ることにより、安全に持参薬の管理ができます。この運用を院内に周知し、本年8月より、試験的に一部の診療科の入院患者さんより、持参薬の使用を開始することとなりました。

薬剤部が担当する医薬品の鑑別には、正しく正確な情報が必要となります。地域の医療機関の先生方には、日頃より診療情報提供書の中で、医薬品に関する剤形や規格、用法・用量などの詳しい記載をいただいておりますが、患者さんには、持参薬、お薬手帳や薬の説明書などを病院に持っていくようにご指導いただければと存じます。

富山市民病院薬剤部では、これからも患者さんを中心に、医療安全に徹して参りますので、よろしくお願いいたします。

Contents

持参薬管理と薬剤部	1
研修・講演・勉強会のご案内	2.3
8月の地域連携・開放型病床症例検討会報告 ...	3
診療所・病院・施設訪問	4
透析看護認定看護師となって	5
皮膚排泄ケア認定看護師となって	5
がん・なんでも相談室主催の市民公開講座 ...	5
乳腺エキスパート技師の育成活動とその成果 ...	6.7
医師不在のお知らせ	7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ ...	8
編集後記	8

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

9月 日時：9月14日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂
ミニレクチャー：「急変時の心肺蘇生法(AED含む)について」救急科 野田 透

近年、突然の心肺停止時の初期治療の重要性が提唱されています。心肺蘇生については、第一発見者 救急隊 救急室 集中治療室 とそれぞれの場面において各自が可能な処置を行いつつ、心肺および脳の蘇生ならびに社会復帰をめざす、ということを目標に、世界的にほぼ同一のガイドラインの下で治療が行われるようになってきています。

今回は、急変時から救急室までの初期治療の

9月は症例検討がありません。

方法を中心に、最近の標準的な心肺蘇生法についてご紹介いたします。なお、ガイドラインは約5年毎に改訂され、本年がその改訂の年にあたりますので、来年は標準的な方法が若干変更されている可能性がありますので申し添えます。



10月 日時：10月12日（火） 19：00～20：15 場所：当院3階 講堂
ミニレクチャー：「創傷被覆材の使い方」 形成外科 置塩 良政

2. 内科CPC

日時：9月14日（火）17：30～
場所：医局カンファレンス室

3. とやまレントゲン読影会

日時：9月17日（金）19：00～20：00
場所：集団指導室

4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：9月2日（木）17：30～18：30
場所：集団指導室
テーマ 「地域との連携・糖尿病の
治療と医療費」
講師 医事課課長代理 浅井 修

5. 感染対策学習会

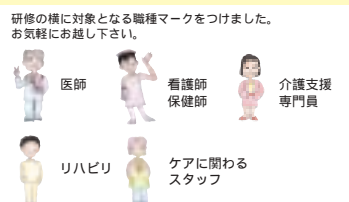
日時：9月6日（月）17：45～19：00
場所：講堂
テーマ 「感染対策に重要な病原微生物」
講師 感染対策アドバイザー
波多江 新平先生
認定臨床微生物検査技師
中村 政雄

6. 地域連携学習会

日時：9月6日（月）17：45～18：45
場所：集団指導室
テーマ 「腹膜透析患者の栄養と食事」
講師 (株)バクスター クリニカルコーディネーター
奥田 佐津喜先生

7. 緩和医療委員会学習会

日時：9月14日（火）18：00～19：00
場所：集団指導室
テーマ 「家族ケア・コミュニケーションスキル」
講師 ターミナルケアエキスパートナース
清水 好志美
ターミナルケアエキスパートナース
高島 千佳子



8 . 褥瘡対策学習会



日時：9月24日（金）17：45～

場所：医局カンファレンス室

テーマ 「褥瘡の保存的治療」
「消毒、洗浄、壊死組織除去」

講師 皮膚科医師 野村 佳弘
看護師 大島 倫子

日頃ケアしている患者さんの褥瘡について検討を希望される方は、褥瘡部の写真を3日前までにふれあい地域医療センターまでお送り下さるか、当日ご持参ください。

9 . NST学習会



日時：9月27日（月）18：00～19：00

場所：講堂

テーマ 「CVポートによる静脈栄養法について」
講師 外科医師 角谷 直孝

10 . 看護研修



《衛星研修S - QUE Eナース》

日時：9月1日（水）18：00～19：20

場所：講堂

テーマ がん化学療法の基本的ルール 基礎

日時：9月15日（水）18：00～19：20

場所：講堂

テーマ 知りたい！癌性疼痛と緩和ケア技術

応用

《衛星研修S - QUE 特別企画》

日時：9月24日（金）17：00～19：00

場所：集団指導室

テーマ 「人材確保と人材育成の
プロモーション」
～ワーク・ライフ・バランスを
考えた職場づくり～

《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 65 藤下内科クリニック

今回は「藤下内科クリニック」を訪問させていただきました。

名 称	藤下内科クリニック
住 所	富山市婦中町砂子田59 - 8
医 師	藤下 隆 先生（院長）
標 榜 科	内科
診察日・時間	平日 8：30～12：20 15：00～18：20 土曜日 8：30～12：20 水曜日午後・土曜日午後・日曜・祝日 休診
施 設 区 分	無床診療所

訪問記



藤下先生



藤下内科スタッフの皆様



藤下内科クリニック前景

真夏の太陽が、アスファルト道路を溶かすかと思うほど暑く感じた8月9日、午前の診療を終えたばかりの藤下内科クリニックを訪問させていただきました。

藤下内科クリニックは、8月2日に今までの診療所の向かい側に移転新築されたばかりで、広い駐車場があり、白と茶色で統一されたスタイリッシュで都会的な建物でした。玄関は優しい心遣いのあるバリアフリーとなっており、受付正面では、藤下内科クリニックのロゴといっしょにスタッフの方が優しい笑顔で迎えてくださいました。

藤下院長先生は、富山大学医学部助手、米国ハーバード大学癌研究所研究員を経て、平成18年4月に開業されておられます。平成19年8月から医院名を“藤下内科クリニック”と名称変更されています。

専門である呼吸器や内分泌を中心に、小学生から成人までの診療と往診や訪問診療にいたるまで、幅広く地域医療を展開しておられます。また小学校の校医としてもご活躍で児童の健康診断や、保健活動として睡眠の働きや成長ホルモンの話、よい“うち”の話などを児童や親御さんにわかりやすく講義されているそうです。

また、先生は電子カルテやCRを導入して、効率よく、患者さんをお待たせしないスムーズな診療の流れを目指しておられ、患者さんとは家族のような顔の見える医療を行っていきたいとお話されていました。

藤下内科クリニックのスタッフは先生を含めて5人で、チームワークを大切にしており、家庭的な雰囲気に努めているとうかがいました。クリニック内も外観と同様に白と茶色で統一されており、岩崎ちひろの絵がところどころに飾られてある待合室では、心落ち着けて待ち時間を過ごすことのできるような雰囲気が流れていました。診療の合間の貴重なお時間に訪問させていただきましたが、先生の素敵な笑顔と優しさに見送られながら、帰路につきました。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

透析看護認定看護師となって

透析看護認定看護師 松木 理浩



透析看護とは、末期腎不全に至り、やむを得ず透析療法を受けなければならなくなった患者さんが、透析療法を受けながらもその人生をより満足できるように援助していくことであると考えます。透析療法は、腎臓移植を選択しない限り、生涯付き合っていかなければならない治療です。そのため、透析療法を導入しなければならないことは、患者さんにとって計り知れない衝撃を受けることとなります。しかし、透析療法を受けながらも、患者さんの身体的恒常を保ち、精神的、社会的な健康を保持することができれば、十分にQOLの高い日々を過ごすことが可能です。そこで透析看護認定看護師として、日々透析患者さんの健康を保持するために、最新の技術提供、情報提供をし、また専門職者の教育・育成を行い、透析看護の向上に努めていくことが大切であると考えます。

透析を受ける患者さんとその家族の方が抱える問題について、その方にとって一番良い援助を提供できるように今後も頑張りたいと思います。



皮膚排泄ケア認定看護師となって

皮膚排泄ケア看護師 青木かずみ



皮膚・排泄ケア認定看護師は、以前WOC看護認定看護師と呼ばれていた分野で、Wound：創傷、Ostomy：ストーマ（人工肛門・膀胱）、Continance：失禁に関わるスキンケアや排泄ケアを主とした看護を行います。

スキンケアは、皮膚・排泄ケアの領域全てに共通し基礎となる部分であり、皮膚障害を起こした皮膚や皮膚障害のリスクの高い皮膚に対してケアや援助を行います。また、排泄ケアは人間の基本的ニーズであり、羞恥心を伴う部分でもあります。社会生活を制限する排泄障害に対して苦痛を取り除き、尊厳を保ち、生きる意欲や人間らしさを取り戻すためのケアや

援助を行います。

地域医療支援病院として、これらのケアを必要とする患者さんやケアに困っている看護師や地域医療機関の方々にもケアの指導や相談に応じていければと考えています。すでにストーマケアに対しては、ストーマ相談窓口において地域医療機関からの相談を受けております。また、創傷に関しては、地域医療機関の方々も参加できる褥瘡勉強会を毎月最終金曜日に実施しています。興味のある方はお気軽にご相談ご参加ください。



がん・なんでも相談室主催の市民公開講座

『がん・なんでも相談室』では、がんに関する情報提供の一環として、市民を対象とした市民公開講座「がんについて学ぶ会」を開催しております。講座は6講座1クールで講師は当院の専門職で構成されています。

第3回目となる「がんについて学ぶ会」は、6月18日から7月23日までの毎週金曜日に開催しました。参加者は講座によって4名から8名の方で、現在治療中の患者さんやご家族の方、ケアマネジャーの方などが参加されました。講座の時間は30分～60分程度ですが、どの方も熱心に聴講され、日頃から聞きたかった疑問や質問を活発にされました。講師のほうに圧倒されそうで、皆さん医療情報を求めていらっしゃることを強く感じました。

近年では、おおよそ2人に1人が一生のうちがんと診断される（『がんの統計2009』財団法人がん研究振興財団より）という時代となりました。がん相談員として、多くの方にごんについて啓発を行い、関心を持っていただきたいと思っています。



乳腺エキスパート技師の育成活動とその成果

(第48回全国自治体病院学会 発表)

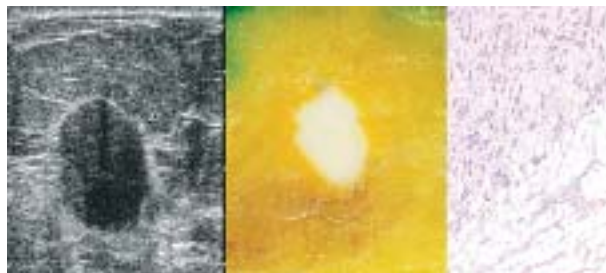
野崎 智子・二口 明奈(中央研究検査部臨床検査科)

当院では、2006年4月より病理検査系の女性技師が乳腺エコー検査を実施しています。一般的にエコー業務は生理検査部門の検査技師が担当することが多いのですが、乳腺疾患の細胞診や生検・手術標本など診断から治療の一連にかかわる病理検査部門の検査技師が乳腺エコー検査を行う意義は大きいと思います。

現在、外科 福島医師、病理科 齋藤医師の指導のもと病理検査部門の女性検査技師3名(うち2名は細胞検査士)が活動しています。乳腺エコー検査は放射線科に出向して行い、穿刺細胞診の検体採取時には原則エコー担当者が立ち会います。細胞診判定は全例カンファレンスを行い、組織型推定に役立つようエコー所見の提示・説明を行っています。また、乳腺エコー実施時には病理所見と対応可能なように切り出し方向に合わせたフォーカスを加え、肉眼割面像、組織標本と対比をしています。月1回、外科医、病理医、放射線医・技師をまじえた乳腺術後症例検討会を主催し、以上の結果を総合的に検討しています。

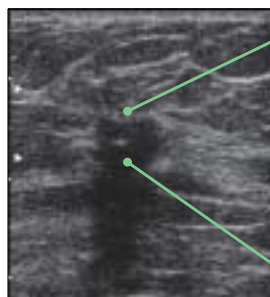
乳腺エコーは年間約1700件実施し、そのうち12%に穿刺細胞診が施行されています。穿刺時の立会いでは、腫瘍の位置や採取部位のアドバイスが行え、不適正検体の減少に役立っています。乳腺細胞診カンファレンスでは、正常・良性と判定したもののこれまでにエコー画像で悪性を疑い再採取を促した症例が5件ありました。エコー画像は細胞診の組織型推定に役立ち、細胞診の精度向上が図られています。エコー画像と肉眼割面像・組織像との対比により、エコー画像の理解と組織型推定の学習が行え、エコー検査の精度向上にも役立っています。

腫瘍の周囲にhaloを伴うエコー像の理解



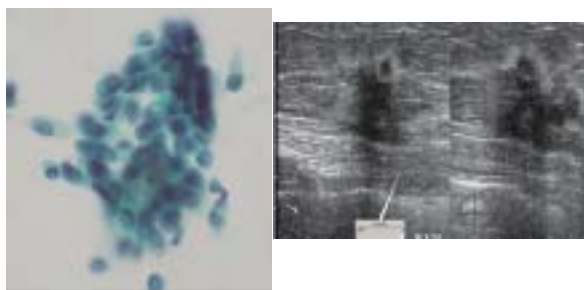
腫瘍の周囲に halo を伴うエコー像は、肉眼像では、白色の腫瘍の周囲に脂肪よりやや黄色みの色調を認め、脂肪浸潤を疑う像として理解できた。

採取部位のアドバイス



硬癌の場合は、穿刺部位で、採取される細胞量に相違が生じる事など、臨床医とコミュニケーションをとることは大切。

エコー像が細胞診の組織型推定に役立つ例



【左】細胞診ではICLが目立ち、硬癌と小葉癌の鑑別が問題となったが、【右】エコー像は、硬癌にみる後方エコーの減弱が乏しく、エコー画像からより小葉癌を推定しえた。

す。また、乳腺術後症例検討会では、多職種間での診断技術向上や知識を深めることができ、チーム医療の推進に役立っています。乳腺エキスパート技師として乳腺エコー検査、細胞診断、病理組織検査に関わることは、それぞれの連携と精度向上に役立ち、乳腺医療の質の向上に寄与するものと思われます。

乳腺術後症例検討会は毎月第3火曜日午後4時から、病理検査室で行っています。興味のある方はぜひご参加ください。



医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

9月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	7日	余川	整形外科・関節再建外科	3日、14日、24日	澤口
	8日、13日	林	泌尿器科	24日、27日	元井
	16日	大田	形成外科	3日、6日	置塩
	3日	寺崎(靖)		14日、15日、16日、17日	瀬戸
	10日	泉谷	脳外科	15日	塚田
	10日	清水	小児科	24日、27日	橋本
	16日	町谷		2日、3日、27日	金田
眼科	17日	山田	精神科	1日	吉本
	10日、13日、14日	清水		3日	戸田
呼吸器・血管外科	9日	草島		22日、24日	長谷川
	3日	瀬川	麻酔科	16日、17日、27日、28日	青山
外科・乳腺外科	6日、30日	泉		3日	加藤
	6日、7日	角谷		21日、24日	高木
	7日、28日、29日	福島	産婦人科	27日	三輪
皮膚科	27日	野村		16日、17日、21日、22日	大田

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。



認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ



呼吸器看護 エキスパートナース編

呼吸器看護エキスパートナースの活動は、人工呼吸器を装着されている患者さんに対して医師、理学療法士、臨床工学技士とともにチームを組み、呼吸器の離脱にむけた管理やケアのサポートを行ったり、在宅酸素療法（HOT）を導入されるCOPDの患者さんの生活指導を行ったりすることです。



また、新人看護師を対象とした人工呼吸器の研修会を2回/年開催し、基本的な自然呼吸と人工呼吸との違い、各モード、用語についてなどを講義しています。その後、器械に触れながら、回路の組み立てやチェックリストをもとにした点検、シュミレーターを使用して、体位変換時の注意点や気管内吸引、チューブ管理の方法などを説明しています。人工呼吸器は生命維持装置であり、ベッドサイドで実際に管理、ケアを行う看護師にとっては様々な不安や疑問があるはずですが、ささいなことでも相談にのり、ケアを行う看護師の不安や疑問が少なくなるよう、私たちがサポートできればと考えています。

また、HOTを導入される患者さんは、食事やお風呂はどうしたらよいか、もう自宅から一歩も出ることが出来なくなるのではないかなど日常生活を送るのに不安を抱いています。そうした患者さんが少しでも安心して生活できるよう私たちの知識を生かし、今後も専門的な援助や活動を行っていきたいと思います。

編集後記

今年度も、看護の日・看護週間に合わせて、小学生・中学生・高校生のふれあい看護体験がありました。

富山県作業療法士会でも、理学療法の日、作業療法の日、言語聴覚療法の日に合わせ、毎年夏休みに高校生の進学の参考にと作業療法施設見学会を実施しております。当院でもリハビリテーション治療場面の見学や籠作り作業の体験をしてもらい、参加をしてみたいの感想や質問などに対応しながら、自身が進路を決めた頃を思い出していました。『患者さんやご家族に、在宅でよりよい日常生活を送っていただきたい』との思いでこの職業を選びましたが、地域との連携が重要になってきた昨今、今まで以上に患者さんがQOLを高く、在宅で過ごすことができるよう努めていきたいと考えました。どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション科作業療法士 平井 瑞穂

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。
送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>
がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp